

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：レイモンド湘南 保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：齊藤由起 子	定員（利用人数）： 60名（66名）
所在地：253-0084 神奈川県茅ヶ崎市円蔵1-19-50	
TEL： 0467-50-0421	ホームページ： https://www.lemonkai.or.jp/school/nursary/leimond-shonan-hoikuen/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成26年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人檸檬会	
職員数	常勤職員：10名 非常勤職員 9名
専門職員	（専門職の名称） 名
	（保育士）16名
	（調理員） 3名
施設・設備の概要	（居室数） 0～2歳児室 3室 3～5歳児室 3室
	（設備等） 鉄骨造り1階建て 床面積430㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

子育てによるこびを、社会にあたらしい風を、笑顔あふれる子どもが住む未来の地球のために、私たちは保育を通して3つの心を育てます。①人、命を愛する心 ②自然と共に生きる心 ③創造（想像）する心

【保育方針】又は【基本方針】

- ① 子ども一人ひとりの育ちに寄り添いそれぞれの、生きる力を育む。
乳児の育児担当制、大人がさり気なく手を差し伸べる保育、基本的な生活習慣と生活経験、子どもの自主性を大切にしたコーナー保育。
- ②さまざまな体験を通して、しなやかな身体と豊かな感性を育む豊かな自然体験、動植物との関わり、心揺さぶられる原体験と豊かな表現活動、多様な運動遊び、子ども発のつながる保育、文化・伝統の継承、美しい保育空間づくり。
- ③ 人とのつながり、社会とのつながりを育む、あいさつ、礼儀作法、利他の心。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

相模線北茅ヶ崎駅から徒歩20分の住宅街にあり、鉄骨構造1階建て（430㎡）園庭計270㎡にて、0～5歳児の定員60名（在籍66名）を擁しています。周囲に複数の散歩コースがあり、年齢に合わせて選択しています。近隣に保育園・幼稚園・小学校・中学校があり、避難訓練や地域交流を持つ機会があります。周囲に田畑があり、四季折々の自然に触れることができ、近隣の「レモンちゃんの畑」で農業体験をし、近隣商店との交流もしています。

【園の特徴】

社会福祉法人檸檬会全体の今年度の取り組みとして、子どもの遊びが深まる時そこにあるのは探究心であり、保育を意識するとき子どもたちはどんなことに興味や関心を持っているのだろうか、そこからどんな風に保育が展開されて行くのかとすることを考えながら、大人も子どもも「なんだろうその先の向こうには」という扉を開けて進んで行くことができる保育を提供しています。

0、1歳児クラスへの関わりは乳児担当制保育を実施し、幼児年齢に於いては個々の育ちを大切に、子ども一人ひとりの生きる力と豊かな感性、社会人とのつながりを大切にしています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年5月1日（契約日）～ 令和2年12月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 子どもが主体的に遊べる保育環境の提供

職員は子どもが何をやってみたいか、何が楽しいかを常に考え、室内ではままごと、積み木、絵本などのコーナー遊び、園庭やテラスでは砂場遊び、虫取り、水遊び、植物の世話など遊びたくなる環境を提供しています。3～5歳児クラスは毎朝のサークルタイムで子どもたちの意見を引き出し、年齢や発達に合わせて、法人の本年度の取り組みである子ども発の「なんだろうその先の向こうには」を求め、子ども主導での遊びの展開、仲間と一緒に何かに向かって取り組める環境を提供しています。

2. 種まきから収穫まで行う一貫した食育

地域の方から借りた「レモンちゃんの畑」で野菜を栽培しています。年間の栽培計画を作成し、4、5歳児がピーマン、茄子、ほうれん草、にんじんなどを種から育て、野菜が大きくなっていく様子を観察し、絵に描いたり写真を撮り、保育室内に掲示したり「レモンちゃんの畑ニュース」を園だよりに載せています。自分たちで育てた野菜を収穫し給食で食べるまでの過程を一貫して体験し、子どもたちは植物の成長と食事の大切さを実感しています。

3. 職員の質の向上に向けた取り組み

職員の個別目標管理シートや職員用冊子「れもんのこころ」の保育の振り返り指針のチェック項目により、半期ごとに職員一人ひとりの目標を設定し、中間面談で進捗度を、期末面談で目標達成度を評価・反省し、園長から助言を受ける仕組みがあります。目標達成度の評価は査定、報酬に連動し、職員のモチベーションの向上につながっています。

◇改善を求められる点

1. 園の外に向けた活動の推進

保育の専門機関として子育てのノウハウや知識、技術、情報を生かして講習会を開催し、地域ボランティアを受け入れるなど、地域との交流を推進することが期待されます。その結果、地域との風通しが良くなり、園の子どもたちにとって豊かな経験につながるようになります。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

社会法人檸檬会レイモンド湘南保育園園長 齊藤由起子

今回レイモンド湘南保育園に関する評価結果をいただきました。昨年一年をかけて保護者・職員の協力を得て評価に取り組んできました。開園して7年経過の中で、保護者と保育園の関係性はどのような状況にあるのか、職員一人ひとりが保育内容を理解したうえで保育に取り組めているのかなど、保育運営にあたり手探り状態の部分もあり、今回の評価依頼をお願いいたしました。

今回の結果からみて保護者の園に対する方針や理念の伝わり方のあいまいさに施設長としての取り組み方の工夫を感じ課題となりました。保護者に対しての取り組みは早急に取り組んでいく必要性を感じています。

全体評価としてレイモンド湘南保育園の良好と評価して頂いた点は今後も継続し、子どもたちの探求する心を育てていき、足りない点については取り組みの内容を園内研修課題として提案して、改善していく努力をしていきたいと思っております。

評価にあたり、ご配慮いただきました皆様ありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり